

発行者：社団法人福井県下水道管路維持協会 Fukui Sewer Collection System Maintenance Association  
事務局／〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL. & FAX. 0778-52-2805

## 「ふくい管路協ニュースの発刊によせて」

福井県土木部都市整備課 課長  
**加藤 孝**

社団法人福井県下水道管路維持協会の皆様におかれましては、下水道事業の発展のため、ご協力を頂きまして厚くお礼を申し上げます。

県では、「福井新元気宣言」に掲げられた「元気な社会」、「元気な産業」、「元気な県土」、「元気な県政」の四つのビジョンを着実に実現していくため、県民の皆様のご理解とご参加を得ながら、各種施策・事業に取り組んでいます。

さて、下水道の目的には、健康で快適な生活環境の向上、河川・海域等の公共用水域の水質保全および近年の集中豪雨により頻発する都市型水害から県民の生命・財産や都市機能を守ることがあります。

このため、県は、市町とともに、今日まで、諸施策を積極的に展開してきたところです。下水道普及率については前年度より1.5ポイント上昇し、17年度末で62.9%となっています。しかしながら、下水道は、一人一人の住民にとっては、使えるか、使えないかという性格の社会資本であり、県内には、未だ約14万人の県民が下水道整備を待っている状況であり、早期の未普及地域の解消を図る必要があります。

下水道が有する役割、機能を考慮すれば、下水道は作れば終わりではなく、適正な管理により機能を発揮することによって、

初めて役割を果たす社会資本です。これまでに整備した管路の総延長は、約4千5百キロメートルにも及び、これらの施設を適性に管理していかなければ、トイレの使用制限、管渠の破損による道路陥没など、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす恐れがあります。今後とも増大する下水道資産を適性に管理し、施設の延命化等の取り組みを行う必要があります。

これらの事業を進めるためには、巨額の資金を必要とするわけですが、厳しい財政状況や人口減少、災害の多発、地球環境問題等下水道を取り巻く社会情勢が大きく変化しており、事業の執行方法を大きく転換していく必要があると考えています。

貴協会におかれましては、管路の維持管理に関する調査・研究および下水道の管路技術の向上のため、積極的に最新の技術等の研修活動を行っておられると聞いていますが、今後とも、更なる技術向上のため、精力的な活動をお願いします。

県といたしましては、今後とも、市町と連携を強化し、国に対して、財源の確保および実効ある施策を強く要望していきたいと考えており、皆様方からも特設のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

## 維持管理の実情

(平成19年度維持管理技術研修会より)

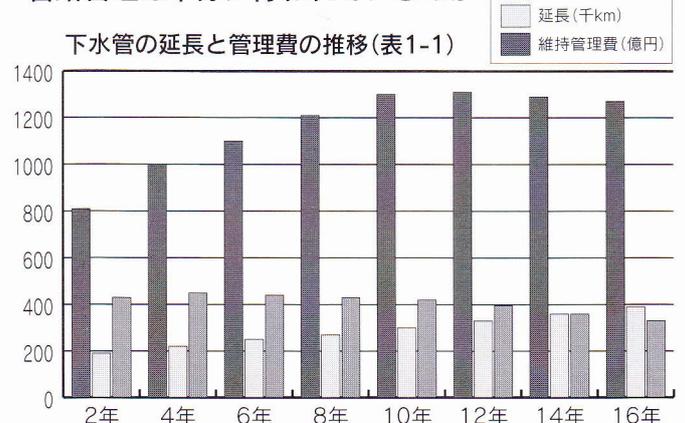


平成19年度 維持管理技術研修会

平成19年5月24日(木)に当協会主催の維持管理技術研修会を開催したところ、大変お忙しい中を官公庁の下水道実務担当者をはじめ、工法協会会員様、コンサルタント会社様、当協会員など約60名のご参加いただきましたこと誠にありがとうございました。

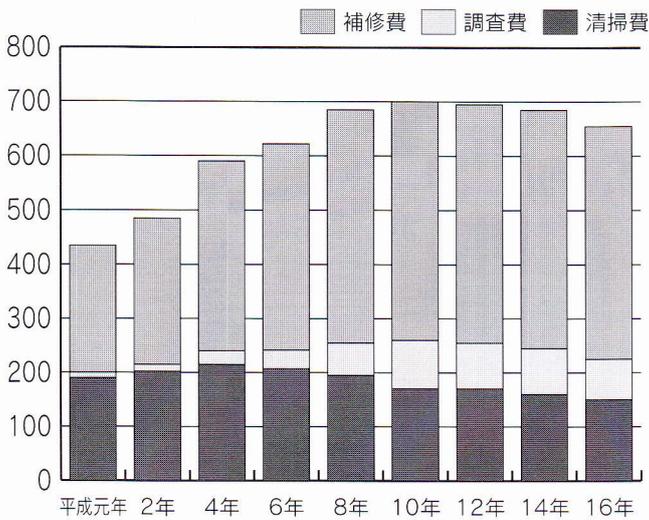
研修会講師には、(社)日本下水道管路管理業協会 常務理事 篠田康弘氏が『維持管理の現状と課題』について協会役員の視野から講演いただきました。今回は、この講演内容をまとめご報告させていただきます。

### 管路管理は十分に行われているのか



平成2年時の布設延長約20万kmから平成16年には約40万kmと順調に伸びてきている。維持管理費の総額は平成2年に800億円超、平成12年にピークに達し、平成16年には1200億円超と減少傾向にある。維持管理費全体の推移では1.5倍の金額ではあるが、延長1mあたりの維持管理費では、平成4年の約480円/mから平成16年の320円/mと約66パーセントに縮小してきている。下水道管路管理費の推移は、次項表1-2のとおりである。

下水管路管理費の推移(表1-2)



平成元年より従来の管路の清掃費が減り、調査・補修費の割合が増えてきている。これは50年を越す経年管が増えてきたこと、近年、多くみられる下水管が原因による陥没事故に対応するためのものとみられる。

このことを踏まえ、(社)日本下水道管路管理業協会は平成15年に603市町村とすべての都道府県に対してアンケートを行い、374団体の回答を得た。この中の質問として、『管路の管理は十分に行われているか』についての回答は、『十分に行っている』…33.2%、『十分に行っていない』…64.4%、『回答なし』…2.4%

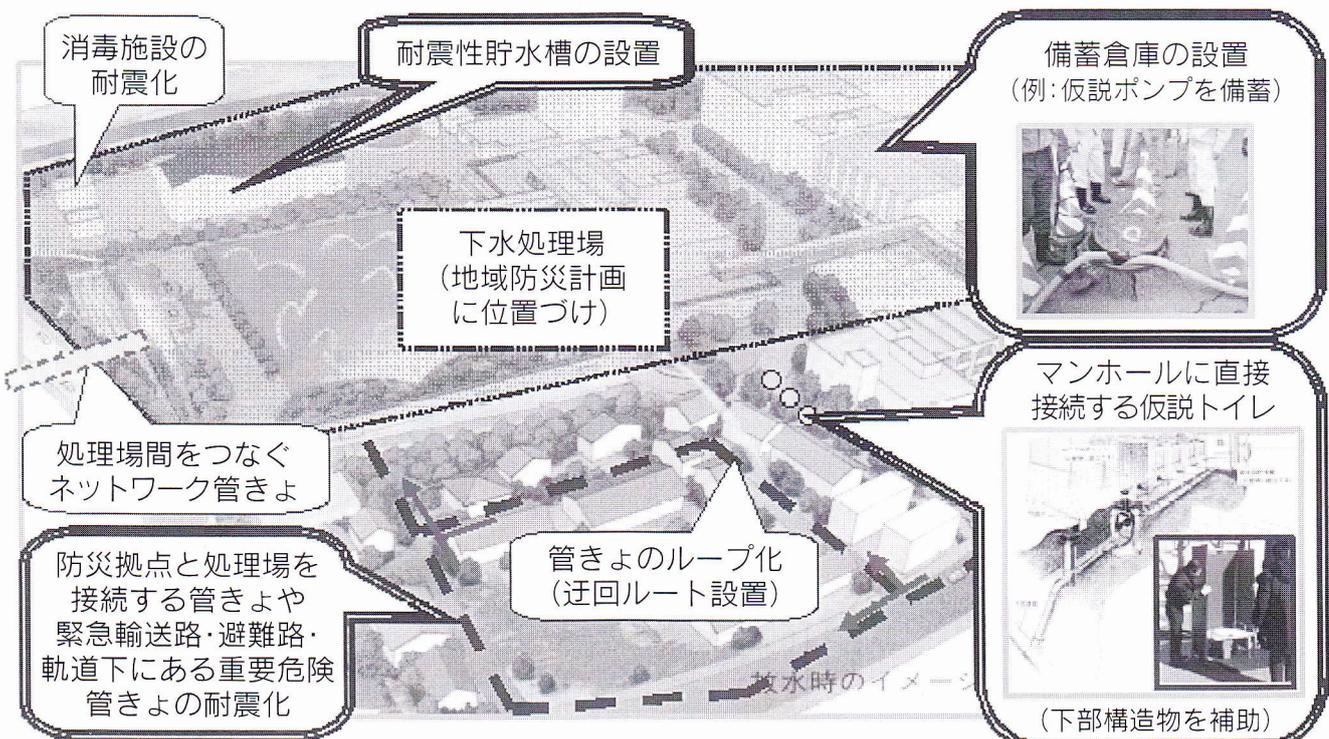
『十分に行っていない』と答えた団体の理由は、

1. 予算不足 182団体(58%)⇒厳しい財政状況から予算の確保が追いつかない等。
2. 人員不足 96団体(31%) ⇒人員削減で手が回らない等。
3. 計画未定 14団体(5%)⇒管路調査による計画性のある管理ができない等。
4. 技術不足 9団体(3%) ⇒
5. 供用開始からの日が浅い 5団体(2%)

以上の回答がよせられました。1.2.の回答はともに財政絡みの話で、3.4.5は管路の維持管理に対する認識と技術力の不足と判断されます。ただし、民間も同様であります。財政等が厳しい状況は変わりなくコスト縮減と維持管理の手法を見直し、初期の清掃等からの計画的維持管理によりライフサイクルコストを少なくできることは明白であろう。

安全・安心の確保に向けた緊急事業が展開されている。国土交通省都市・地域整備局下水道部では、近年の都市浸水災害や地震災害の発生状況を踏まえ、平成18年度に「下水道総合浸水対策緊急事業」及び「下水道地震対策緊急整備事業」を創設されました。両事業制度は、重点地区において計画期間5年以内の緊急計画を策定して対策を実施するものです。また、最近の下水道地震対策緊急整備事業を実施する予定の市町村を見ると、近年では管更生等で国庫補助を受けることができなかった政令指定都市が積極的に参加していることが分かる。しかし、残念なことに福井県で申請をしている所は福井市だけで、財政難で出来ないのなら国庫の積極活用が望ましいと思う。

## 下水道地震対策緊急整備事業のイメージ



を現行の補助対象に追加

## 道路陥没事故に注意 下水道施設の改築等

○東京都では、下水管の老朽化による陥没事故が年間約1,400件発生するなど、下水道施設の老朽化対策が問題になっています。

○下水道の機能を維持するとともに施設の破損による不足の事態を防ぐため、計画的な改築・更新は不可欠です。

■下水道路の損傷状況に関する点検等調査(第1回)の結果:  
報道発表資料(H18.12.7)

■下水道路の損傷状況に関する点検等調査(第2回)の結果  
(H19.2.22)

### 老朽管の様子と陥没事故

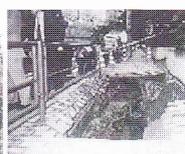


テレビカメラによる映像

割れ目から土砂が引き込まれ  
舗装下に空洞



銀座



高輪

上記は、東京都の例であるが福井県内にも同様なことが起きている。原因としては建設時の施工不良による埋め戻し断面の沈下、硫化水素等での管の劣化による土砂の流失によるものや、本管と取付管の接続不具合による沈下、陥没が発生している。この後の緊急対応にも我々、維持管理業者は、24時間体制で常に対応しているがここでも「管路の管理は十分行われているか」が問われる。

## 災害支援活動状況

福井県下水道管路維持協会は、福井豪雨災害(H16)の復旧に福井市をはじめ福井県下一円の被災された下水道管渠、処理施設や道路のボックスカルバート等の土砂の除去や施設の回復に努めた。



福井豪雨災害支援状況

新潟県中越地震でも(社)日本下水道管路管理業協会中部支部より災害支援を実施。阪神淡路大震災においても協会員が災害支援を行う。



新潟県中越地震災害支援状況

新潟県中越地震でも(社)日本下水道管路管理業協会中部支部より災害支援を実施。阪神淡路大震災においても協会員が災害支援を行う。

## 低価格入札に対する対応

### ●東京都の意見交換会より

#### 1. 何故起きるのか(背景)

- (ア) 過当競争
- (イ) 予算の削減(仕事の減少)
- (ウ) 他県・他分野の参入(無資格者が多い)
- (エ) 発注時期の偏在

#### 2. なぜ可能か(理由・目的)

- (ア) ペーパー会社の参入(工法協会加入のみで施工機械を持たない会社を認めている)
- (イ) 受注減で仕事量を確保したい。
- (ウ) 資源(人的・物的)が遊んでしまう。
- (エ) 一般土木の減少(一般土木業者の参入)

#### 3. 影響(現象)

- (ア) 下請けへのしわ寄せ、外注費のカット
- (イ) 元請けとしての受注困難
- (ウ) 機材・設備のコストダウン、安全費の削減
- (エ) 作業員の肉体的疲労(超過労働きみ)、健康管理の不足

#### 4. 結果

- (ア) 品質の低下
- (イ) 安全面での不安
- (ウ) 若い人材の確保と育成の余裕がない。
- (エ) 労働の魅力の低下
- (オ) モチベーションの低下
- (カ) ペーパーカンパニーのみの業種に変化

### ● 官公庁の対応

#### ◎低入札に対する対応策

1. 地域に貢献している会社の優先指名
2. 技術評価制度の充実(施工能力・施工機械)
3. 最低制限価格の引き上げ
4. 発注時期の平準化
5. 災害支援ボランティア的貢献実績を使命に考慮
6. 問題業者の確実な指導・監督
7. 管路協の管理技士・業者登録制度の活用

以上のような声が出たことも一つの進歩であり、実際に現場で担当する我々のような企業にとっても大きな前進と考えられる。

今回の維持管理技術研修会では、このほかに『管更生の実態と課題』『更生工法等検討委員会への要望・意見』『管路管理技士認定制度と業者登録制度』『新技術の普及支援(19年度新規)』についてご講演をいただいたことをご報告します。今回、お世話になりました(社)日本下水道管路管理業協会が維持管理のトップリーダーとして、我々の(社)福井県下水道管路維持協会を引っ張っていただきたい。ならびに篠田常務理事のますますのご活躍をご祈念申し上げます。



## 黄綬褒章御礼

福井県下水道管路維持協会  
会長 酒井典康

一言御礼のご挨拶を申し上げます。

19年春の褒章に際しまして、黄綬褒章の榮に浴し身に余る光榮に感謝いたしております。過日5月16日国土交通省にて褒賞を戴き、皇居にて天皇陛下の拜謁を戴き、この上もない喜びで御座います。関係各位に対して心から厚く御礼申し上げます。

さて、昭和35年3月より父の経営いたします土木業に入りまして47年、建設業一筋に歩んでまいりました。その間昭和38年・56年の豪雪、昭和63年全国下水道維持管理3団体の合併、平成5年(社)日本下水道維持管理協会の法人化、平成6年福井県下水道管路維持協会の設立、平成7年阪神淡路大地震支援、平成11年(社)福井県下水道管路維持協会の法人化、平成14年北陸管更生協同組合の設立、近畿地方整備局認可、平成17年福井大風水災害支援等災害支援指揮などを行い、下水道専門家による受注施工をめざして協会設立を行い、更には会員の社会的地位の確立に努力を致したところで御座います。

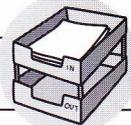
特に、阪神淡路大地震については、(社)日本下水道管路維持管理協会の支部長として、平成7年1月17日被災日より約1,5ヶ月兵庫県神戸市を中心に災害調査支援企業の現地指揮に参加させていただきました。食料なし、トイレなし、休息場所なしの中を支部役員と共に全国より協会会員の支援を戴き下水の被災額調査・管路診断・清掃に努力をさせて頂きました。現場は映画で見る戦争の後の焼け野原とも言える風景が見渡す限り

続いておりました。どこに行きますにも歩く以外交通手段が災して調査に必要な下水道台帳が、神戸市庁舎の損壊により持ち出すことも出来ない中を、道路地図を基に毎日調査に明け暮れたことがつい最近のように目に浮かびます。

そして忘れられないのが、平成11年福井県下水道管路維持協会の法人化です。当時は福井県・栗田知事・西川副知事・牧野総務部長・野崎都市整備課長・野村教育委員長・県庁OBの末定参与のご指導の下、3ヶ月という異例の速さで法人化の認可であり、全国で2例目の快挙で御座いました。関係各位のご支援・ご指導に感謝申し上げる次第であります。

今後は安心安全の為に自分の出来る範囲で、協会の発展とライフラインの保全・延命の立場から、あらゆる努力・要請に応えてまいりたいと考えております。最後に褒賞関係団体並びに下水道関係者に心から御礼申し上げ、関係各位のご健勝をご祈念申し上げ受賞の御礼にさせていただきます。

## ご報告とお知らせ



### 第16回 通常総会終了



第16回通常総会

- 平成19年5月24日(木)
  - ふくいウェルシティ厚生年金会館 議案審議
- 第1号議案 平成18年度事業報告の件  
第2号議案 平成18年度収支計算書他、承認の件
- 以上の議案が可決されましたことを報告します。  
あわせて  
維持管理技術研修会、基調講演を開催しました。

## 社団法人 福井県下水道管路維持協会正会員

### 株式会社浅原組

〒910-3104 福井県福井市布施田町5-11  
Tel:0776-83-1122 Fax:0776-83-0461

### 株式会社キープクリーン

〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地  
Tel:0778-51-1322 Fax:0778-51-8234

### 株式会社クオードコーポレーション

〒918-8151 福井市中荒井町第5号5番地  
Tel:0776-38-3806 Fax:0776-38-6284

### 新保興業株式会社

〒914-0812 敦賀市昭和町1-18-26  
Tel:0770-22-1243 Fax:0770-24-0102

### 株式会社ダイエイ

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3  
Tel:0778-24-4624 Fax:0778-24-4626

### 大北久保建設株式会社

〒911-0033 勝山市栄町2-7-6  
Tel:0779-87-1580 Fax:0779-87-3148

### 丹南開発株式会社

〒916-0146 丹生郡朝日町朝日5-17-1  
Tel:0778-34-2334 Fax:0778-34-2674

### テラオライテック株式会社

〒915-0806 越前市本保町第8号5番の1  
Tel:0778-22-5215 Fax:0778-22-4100

### 東洋地工株式会社

〒910-0806 福井市高木町4-10-2  
Tel:0776-53-5335 Fax:0776-53-5336

### 株式会社 トミックス

〒916-0005 鯖江市杉本町808番地  
Tel:0778-51-1321 Fax:0778-52-2961

### 株式会社中村正建設

〒910-0833 福井市新保2丁目815番地  
Tel:0776-54-2383 Fax:0776-54-2397

### 西村建設株式会社

〒910-0122 福井市石盛町816番地  
Tel:0776-56-2822 Fax:0776-56-2823

### 株式会社ミルタニ工業

〒910-0844 福井市長本町106番地  
Tel:0776-53-5671 Fax:0776-53-5695

### 嶺南建設株式会社

〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12-24  
Tel:0770-25-6333 Fax:0770-23-5580

## 賛助会員

### エスジーシー下水道センター株式会社

〒160-0008 東京都新宿区三栄町19番地  
(大久保ビル2F)  
Tel:03-3355-3951 Fax:03-3355-3952

### FRP内面補修工法協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3  
Tel:03-3355-1525 Fax:03-3355-5786

### クリスタルライニング工法協会

〒460-0013 愛知県名古屋市中区上前津2丁目3番26号  
(東洋化工機(株)内)  
Tel:052-321-3875 Fax:052-321-0173

### 株式会社国土開発センター 福井支店

〒918-8015 福井県福井市花堂南1丁目11番29号  
(サン11ビル3)  
Tel:0776-33-6011 Fax:0776-33-5960

### 株式会社 水研

〒918-8116 福井県福井市大町1丁目711番地  
Tel:0776-35-8811 Fax:0776-34-3664

### 日本スナップロック協会

〒135-0042 東京都江東区木場3丁目7番地11  
Tel:03-3630-1640 Fax:03-3630-1124

### ペンタフ株式会社

〒561-0874 大阪府豊中市長興寺南4丁目7-3  
Tel:06-6866-8246 Fax:06-6866-8867



## 社団法人福井県下水道管路維持協会

Fukui Sewer Collection System Maintenance Association

事務局/〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL.& FAX.0778-52-2805